



鹿島朝日通信の才能

鹿島朝日高等学校

2024 WEB文鹿祭

ぶんかさい

作品募集

【写真部門】テーマは自由。オリジナルの写真を投稿してください。応募フォームより気軽に投稿できます。
 【イラスト部門】テーマは自由。オリジナルのイラスト・絵画作品を応募してください。郵送でも受け付けます。
 【ムービー部門】ダンス・音楽・アニメなんでもOK。作品の長さは15分以内とします。
 【鹿山あさひ部門】鹿島朝日高校のキャラクター「鹿山あさひ」のファンアートを募集します。フォーマットは自由。面白いアイデアお待ちしてます！
 ウェブ上で展示会を開催します。各部門受賞者には賞品プレゼントあり。ご応募はカシマの通信HPから（応募期間：2024年10月末まで）



鹿島朝日高等学校

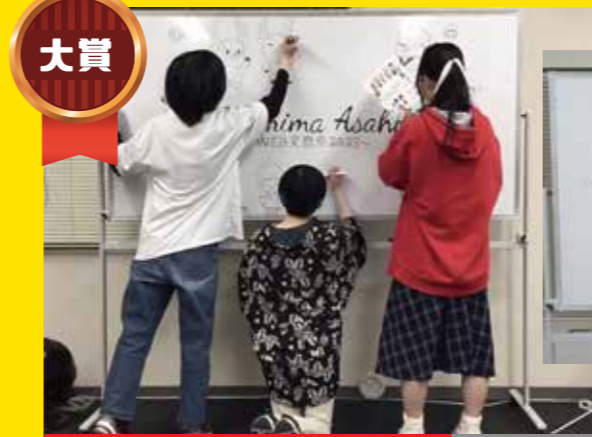
ぶんかさい

2023 WEB文鹿祭

受賞作紹介

すべての作品はこちら！

応募全作品は「カシマの通信ホームページ」内、
 鹿島朝日 文鹿祭イベントページにて公開中！
 ▶ www.kg-school.net/asahi/festival/



大賞

鹿島朝日 × 大阪梅田校ホワイトボードアート



優秀賞



愛犬とさんぼ

校長賞



金魚

理事長賞



3人でやる高校最後の夏休み

学園長賞



可能性

ムービー部門賞



ショパンのバラード

イラスト部門賞



Trick or Treat ?

写真部門賞



海辺の猫

鹿山あさひ賞



鹿島朝日ポスター

作品の視聴はこちら→



作品の視聴はこちら→



ACT 顧問が語る！

写真の楽しみ方

おもしろい写真ってなんだろう？

数々の写真展をみていると、やはりほかとは見方がちがう、**おもしろい視点をもった希少性のある作品**が印象に残ります。

写真は被写体を捉えるものではありませんが、撮り方の工夫によって、**肉眼でそのまま見るのとはちがった表現をすることができる**んです。

例えば、**視点**をよく見る高さよりも思い切り下げてみたり、逆に上げてみたり、**明るさ**を明るくしたり、暗くしたり…。**シャッタースピード**を調整すれば、肉眼では絶対に見えないものを捉えることもできます。

写真によってどのような表現ができるか、よく知らないというひとは、まずは**上手な人の作品**を見てみることから始めましょう。**東京カメラ部**や、**TEAM JP**のInstagramには良い作品がたくさんありますし、**二科展**の写真もホームページ等で見るができます。**土門拳**さん、**ハービー**山口さん、**篠山紀信**さんなど著名な写真家の作品もぜひ見てほしいです。



東京カメラ部 Instagram



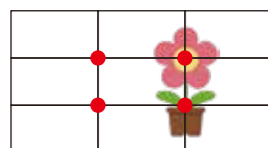
TEAM JP Instagram



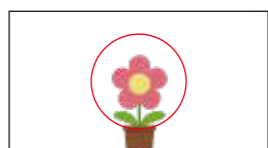
東京カメラ部写真集「それでも世界は美しい」

写真というときまず構図ということがよく言われます。もちろん、**3分割構図**や**日の丸構図**といったお約束はあって、それらのセオリーに沿ったバランスの良い、見ていて気持ちのいい写真というのは基本ではあります。しかし、より高いレベルの写真はそういうものばかりとも限らず、中には**一見バランスの崩れた、気持ちの悪い構図**であるけれども、**なにか感情を動かされる**、そんなものもあるのが面白いところです。

このように、1枚の写真から想像が膨らんでいくような**物語性**であるとか、写真から何かを伝えようとする**メッセージ性**をもった写真というのはおもしろい写真といえると思います。なかなか高度ですが、初心者でも意識してトライしてほしいです。



3分割構図
線の交点に被写体を配置



日の丸構図
画面の中心に被写体を配置

ACT(Asahijuku Camera Team)とは…？

鹿島朝日高等学校の姉妹校、朝日塾中等教育学校で活動する写真部のこと。岡山県内各地で積極的に撮影を行っており、作品は各種コンテストでたびたび入賞するなど評価が高い。



スマホを使った撮影

スマホのカメラでも撮影は楽しめます。1点注意しなければならないのは、**スマホではズームを使わない**こと。画像がぼやけてしまいます。被写体が遠いな、と思ったら自分が近づきましょう。

ポートレートモードは背景をぼかす機能です。被写体の後ろの情報が入らなくなるので、**撮りたいものがより際立つ効果**があります。**グーグルフォト**を使えば、撮影したあとの画像でもぼかしを調整できますよ。

編集が手軽にできるのもスマホの良いところです。構図を**トリミング**で工夫したり、**色味**を調整したり。例えば思い切って**モノクロ**にしてみると、肉眼とは明らかに違う見え方になるので面白いです。眼と違うというところでは、**ナイトモード**を使うとか、**広角レンズ**を使って歪ませてみるとか、とにかくいろいろな機能があるので、この機会にぜひ使ってみましょう。

撮影するだけじゃない！写真の楽しみ方

写真は瞬間を切り取るものですが、時間が経つにつれて**熟成**されるというか、**だんだん深み**が出ます。撮ったばかりの時と、5年10年経ってから見返すのでは、見え方が違うんですね。複数人での撮影なら、画面に動きが出る**人物写真**にもトライしてみましょう。慣れないと恥ずかしかったりするかもしれませんが、きっといい思い出になるはずですよ。

撮った作品は、せっかくですから**プリント**して形として残すのもおすすめです。やはりモニターで見るのとは実感が異なりますし、特に夜景や花火の写真を高級な**印画紙**にプリントすると、背景の黒が映えてとてもきれいに見えますよ。

ざっとお話しましたが、このように写真にはいろいろな楽しみ方があり、楽しみ方はその人の自由です。みなさんも自分の付き合い方で、写真を楽しんでみてください！(まとめ：文鹿祭実行委員)



鹿島朝日高等学校

2024 WEB 文鹿祭



作品募集

募集要項

◆**応募資格** 鹿島朝日高等学校に在籍する生徒であること。

◆**応募期間** 2024年8月1日～10月31日

◆**応募部門** ①写真部門 ②イラスト部門 ③ムービー部門 テーマは自由 ※ムービーは15分以内とします。
④鹿山あさひ部門

応募方法



◆ネットから応募する(全部門)

- ①まずは、カシマの通信ホームページ (www.kg-school.net/asahi/) にアクセス
- ②「在校生向けコンテンツ」にアクセスし、「文鹿祭案内ページ」に進んでください。
【閲覧用パスワード：shikayama2020】
- ③リンクから、「作品応募フォーム」へアクセスし、作品を投稿してください。



◆郵送で応募する(写真部門、イラスト部門)

作品と応募用紙を下記宛先まで郵送してください。

【郵送先】〒709-2136 岡山県岡山市北区御津紙工 2590 鹿島朝日高等学校 事務局 宛

応募に関する注意(必ずご確認ください)

- ・応募作品は第三者の著作権、肖像権などの知的財産権を侵害しないものに限り(すでに他のコンテスト等に応募した作品は著作権が主催者に移譲、制限されている場合がありますのでご注意ください)。
- ・応募作品の著作権は応募者に帰属しますが、鹿島朝日高等学校の広報に関わる媒体(広告・インターネット等)への掲載にあたっては、応募者の許可なく無償で使用できるものとします(その際、氏名(ペンネーム)および作品名を記載しない場合や、トリミング等の加工を施す場合があります)。
- ・法令または公序良俗に反する内容は応募できません。その他、学校が不適切と判断したものは応募を取り消す場合があります。
- ・作品を郵送する場合、作品は輸送、審査、展示作業に耐えられるように制作してください。作品の管理には十分注意を払いますが、不慮の災害・事故による作品の破損・亡失等については責任を負いません。また、展示にあたり糊付け等の軽微な加工を施す場合があります。
- ・応募用紙がないまま郵送された作品や、返却できなかった作品は、イベント終了後1ヶ月間保管したのち、破棄します。
- ・展示の際、氏名(ペンネームの場合はペンネーム)、所属学習センター、作品タイトルおよびコメントを同時に表示します。
- ・電子データで応募された作品は、事務局でプリントして展示しますが、応募者の意図する色合いを完全に再現できない場合もあります。



2024 鹿島朝日高等学校 WEB 文鹿祭 応募用紙 ※郵送時にならず添付してください。				
氏名	学籍番号	所属学習センター		
ニックネーム	展示で本名を掲載したくない場合は、記入してください。		電話番号	-
住所	(〒 -)	メールアドレス		
作品名	応募部門	<input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> イラスト <input type="checkbox"/> 鹿山		
作品についてのコメント				作品の返却について <input type="checkbox"/> 返却 <input type="checkbox"/> 学校にて処分 <small>※返送料は応募者の負担となります。</small>

【鹿島朝日 WEB 文鹿祭に関するお問い合わせ先・作品送付先】

〒709-2136 岡山県岡山市北区御津紙工 2590 鹿島朝日高等学校 事務局

(TEL) 086-726-0210 (E-mail) bunshika@kashima-asahi.ac.jp